



1998～1999

鮫島ガバナー公式訪問報告書

1998. 10. 28

ロータリーの心を FOLLOW YOUR ROTARY DREAM

会 長 海江田 卓
幹 事 岩 田 泰 一

鹿児島西ロータリークラブ

目 次

鮫島哲也ガバナー公式訪問日程	1
公式訪問プログラム	1
クラブ協議会プログラム	2
委員会構成	4
会長報告	5
幹事報告	6
会員移動状況・例会プログラム実績	7
行事、会議実施状況・出席状況	8
会計報告	9
クラブ奉仕委員会報告	9
会員増強委員会報告	10
会員選考委員会報告	10
職業分類委員会報告	11
出席委員会報告	12
親睦委員会報告	12
ロータリー情報委員会報告	13
会報・雑誌委員会報告	14
プログラム委員会報告	15
広報委員会報告	15
S A A 委員会報告	16
職業奉仕委員会報告	17
ボランティア委員会報告	18
社会奉仕委員会報告	19
新世代委員会報告	19
ローターアクト委員会報告	20
インターアクト委員会報告	22
国際委員会報告	22
ロータリー財団・米山奨学委員会報告	23

鹿兒島西ロータリークラブ
ガバナー公式訪問プログラム

〈平成10年10月28日(水)〉

ガバナー 鮫島哲也 殿

分区代理 桑原義和 殿

1. 会長・幹事・会長エレクト(副会長)・副幹事との協議

(11時00分~12時00分)

〈山形屋7F フェニックス〉

2. 公式訪問例会

(12時30分~13時30分)

〈山形屋7F 1号社交室〉

- ① 点 鐘.....会 長
- ② ロータリーソング(それでこそロータリー)
- ③ 四つのテスト唱和
- ④ 会長挨拶.....会 長
ガバナー紹介, 分区代理紹介
- ⑤ ゲスト, ビジター紹介.....会 長
- ⑥ 会務報告.....幹 事
- ⑦ 出席報告.....出席委員会
- ⑧ ニコニコ報告.....親睦委員会
- ⑨ ガバナーアドレス.....ガバナー
- ⑩ クラブバナー贈呈.....会 長
- ⑪ 点 鐘.....会 長

3. 写真撮影

(13時30分~13時40分)

4. クラブ協議会

(14時00分~16時00分)

クラブ協議会プログラム

司 会……幹事 岩 田 泰 一

1. 点 鐘 14:00~

2. 会 長 換 拶……………会 長……………海江田 卓

3. ガバナー換拶……………ガバナー……………鮫 島 哲 也

4. 分区代理換拶……………分区代理……………桑 原 義 和

5. 委員会報告

会 長 報 告……………会 長……………海江田 卓

幹 事 報 告……………幹 事……………岩 田 泰 一

会 計 報 告……………会 計……………森 永 茂 樹

クラブ奉仕委員会報告……………委員長……………太 原 春 雄

会員増強委員会報告……………委員長……………有 馬 戦 男

会員選考委員会報告……………委員長……………前 田 樹一郎

職業分類委員会報告……………委員長……………岩 元 基

出席委員会報告……………委員長……………玉 利 賢 介

親睦委員会報告……………委員長……………正 建二郎

ロータリー情報委員会報告……………委員長……………中嶋 健 (須田正己)

会報・雑誌委員会報告……………委員長……………坂 木 貞 剛

プログラム委員会報告……………委員長……………加 藤 一 徳

広報委員会報告……………委員長……………江 口 清 隆

SAA委員会報告……………委員長……………中 村 英 幸

職業奉仕委員会報告……………委員長……………山 田 晴 彬

ボランティア委員会報告……………委員長……………山 下 皓 三

社会奉仕委員会報告……………委員長……………菅 富 男

新世代委員会報告……………委員長……………松 田 健 一

ローターアクト委員会報告……………委員長……………南 徹

インターアクト委員会報告……………委員長……………池 田 勝一郎

国際奉仕委員会報告……………委員長……………黒 木 幸 一

ロータリー財団・米山奨学委員会報告……………委員長……………原 田 隼 男

6. 講 評……………ガバナー……………鮫 島 哲 也

分区代理……………桑 原 義 和

7. 会 長 謝 辞……………会 長……………海江田 卓

8. 点 鐘 16:00

1998～1999年度 国際ロータリー第2730地区

ガバナー 鮫島 哲也 (さめしまてつや)

昭和4年2月1日生

本籍地 宮崎県日向市大字塩見14198-1

現住所 宮崎県日向市大字塩見14198-1



【略 歴】

- 昭和32年 4月 鹿児島大学医学部卒業
- 昭和41年12月 医学博士の学位を授与さる
- 昭和45年9月1日 現在地に医療法人望洋会鮫島病院開設し現在に至る
- 昭和52年10月1日～平成5年9月30日 日向市教育委員 教育委員長
- 昭和59年4月～平成8年3月 宮崎県医師会理事
- 平成4年4月より 宮崎県精神科医会会長
- 平成4年4月より 日本精神病院協会学術研修委員
- 平成8年4月より 日向東白杵市郡医師会副会長

【ロータリー歴】

- 1976年 日向東RC入会
- 1982～83年 日向東RC8代会長
- 1986年 ポール・ハリス・フェロー

鹿児島西ロータリークラブ理事・役員・委員会構成

1998. 7~1999. 6

(理事) 会長 海江田 卓
 (理事) 幹事 岩田 泰一
 (理事) 直前会長 高山 義則
 (理事) 職奉委員長 山田 晴彬
 (理事) 社奉委員長 菅 富男
 (理事) 新世代委員長 松田 健一
 (理事) 困奉委員長 黒木 幸一

(理事) 副会長 太原 春雄
 (理事) 副幹事 村田 和雄
 (理事) S A A 中村 英幸
 副S A A 諏訪園 隆一
 " 藤安 秀一
 (理事) 会計 森永 茂樹

委 員 会		委 員 長	副委員長	委 員		
ク ラ ブ	ク ラ ブ 奉 仕	太原 春雄	古木 圭介	有馬 戦男 玉利 賢介 坂木 貞剛	前田樹一郎 正 建二郎 加藤 一徳	岩元 基 中嶋 健 江口 清隆
	会 員 増 強	有馬 戦男	大平 重隆	玉川 哲生	田中 寛吉	小田代憲一
	会 員 選 考	前田樹一郎	山元 正明	水沢 清治	中村 一雄	榎田 浩典
	職 業 分 類	岩元 基	松田 忠臣	木治屋克己	高山 義則	坂元 明雄
	出 席	玉利 賢介	上原 満	柴山 一清 桜美 義明	高橋 良明	藤井 寛久
	親 睦	正 建二郎	中園 雅治	小山 幸義 樋渡 良一 田畑 勇 桐明桂一郎	佐伯 壽郎 村田 龍宏 福元 紳一 石橋 渡	東郷 三郎 深掘 孝 濱田 悦郎 和田 武弘
	ロータリー情報	中嶋 健	染川 周郎	高井 敏治	須田 正己	長柄 英男
	会報・雑誌	坂木 貞剛	竹下 洋	野添 良隆	山下 健	
	プ ロ グ ラ ム	加藤 一徳	坂木 泰文	三角桂次郎 諏訪園 助	岩元 紀彦	福田 一郎
	広 報	江口 清隆	深尾 兼好	小園 正人	平岡 禎吉	
職 業 奉 仕	職 業 奉 仕	山田 晴彬	竹下 威	福田 正臣	田崎 一郎	片平 可也
	ボ ラ ン テ ィ ア	山下 皓三	本田 亨	大平 重隆 上原 満 竹下 洋 竹下 威 銚之原大助 新川 靖博	山元 正明 中園 雅治 坂木 泰文 若松喜八郎 日高 好久	松田 忠臣 染川 周郎 深尾 兼好 藤川 毅 秋月 宗近
社 会 奉 仕	菅 富男	若松喜八郎	江夏 洋	川平建次郎		
新 世 代	新 世 代	松田 健一	銚之原大助	水流 洋	三反田藤男	徳留 忠敬
	ローターアクト	南 徹	藤川 毅	福地 眞	江口 一	別府 洋
	インターアクト	池田勝一郎	日高 好久	森田 幸次	瀬戸口良一	
国 際 奉 仕	黒木 幸一	秋月 宗近	池口 恵観	永松 爽夫	大浦 教一	
ロータリー財団	原田 隼男	新川 靖博	徳田 基 米山奨学部	岩男 秀彦 村田 和雄	天本 美信	
ロータリー賞推薦	太原 春雄	山田 晴彬	黒木 幸一	菅 富男	松田 健一	

地区新世代委員会委員 古木 圭介

地区ボランティア委員会委員長 高山 義則

会 長 報 告

(平成10年10月)

鹿児島西ロータリークラブ
会長 海江田 卓

〔クラブ運営の基本方針について〕

国際ロータリーの本年度テーマ“FOLLOW YOUR ROTARY DREAM”に基づいて、初心を見失うことなく、一步一步確かな足どりで、更に前へ進んで行くことと期する。

〔計画事項とその概況〕

1. 活動の原点は例会への出席であることを再認識し、更なる出席率の向上を期する。このため例会の魅力を増す工夫を凝らす。聞くのが楽しい卓話、出席して力づけられ、帰ってやる気の出るプログラム構成を図る。
 - イ) SAAによる座席配置の工夫。
 - ロ) 開会前の親睦のためコーヒー・ワインコーナーを拡充。
 - ハ) 会員卓話、特に入会三年未満の会員による卓話と重点的に組み、月間のテーマに合わせて外部からも有力な卓話者を招く。
- ニ) 欠席者へメイクアップと次回の出席を促す。
2. 会員増強に力を尽くす。
 - イ) 退会者を出来るだけ少なくする。特に入会三年未満の会員のフォローに留意する。
 - ロ) 意欲的な入会を促す。
 - ハ) 退会者の再入会に努める。
3. 会員の親睦を深める。
 - イ) 各委員会毎の意志の疎通を図り、その機会を重ねて行く。
 - ロ) 週報をB5版からA4版に改め、活字を見易しくし、読まれる情報紙を目ざす。
 - ハ) インフォーマルミーティング(夜間集会)で時間をかけて討論し合う。
- ニ) 観月会、クリスマスパーティ、ゴルフコンペ、その他趣味の集いで親睦の機会を拡げる。
4. 新入会員の啓発を図る。
 - イ) ロータリー情報委員会によるオリエンテーション(入会当日)
 - ロ) 新入会員のためのミーティング(新入会員が複数になった時点で)
 - ハ) 学習会(毎月第1月曜日)に於ける開発(入会后三年間義務出席)
5. 奉仕活動の活性化に努める。
 - イ) 職業宣言と例会場に常時掲示し、「四つのテスト」を唱和し、意識の昂揚を図る。
 - ロ) インターアクト提唱高校に於ける生徒のための職業選択に関するフォーラムを開く。
 - ハ) 街の隠れた社会奉仕の実践者を顕賞する。
- ニ) 社会福祉施設を訪問する。
 - ホ) ローターアクトと協力し、西鹿児島駅前の清掃等に全員で取り組む。
 - ヘ) プロバスクラブ、ローターアクトの会員増強に協力する。
6. 世界社会奉仕活動に協力する。

適切なプログラムを模索し、資金協力などを図る。
7. 財団への貢献を強化する。

ポール・ハリス・フェローの拡大、米山奨学会への貢献推進に意を注ぐ。
8. 地区の催しへの参加を増強する。

地区大会、I.M., 地区協議会等への一層の動員を図る。
9. 兄弟クラブとの連携を深める。
 - イ) 平成11年4月に催される鶴岡ロータリークラブ40周年記念式典に会員家族を含め、できるだけ多数の参加を促す。
 - ロ) サンライズロータリークラブ(アメリカ カリフォルニア州サンタローザ市)との高校生交換プログラムを推進する。

幹事報告（クラブ概況報告）

幹事 岩田 泰一

1998～99年度がスタート、幹事をお引き受けし、早いもので10月で四ヶ月を迎えます。不勉強でこの大役を全う出来るか大変不安でありましたが、事務局が2人体制で充実、SAAの司会進行で例会運営もスムーズに行われています。

また、会長さんの良きアドバイスと指導力、各委員長さんはじめ会員皆様のご協力に依り、その任をはたそうと頑張っています。

これから上期、年末までは①ガバナー公式訪問②新入会員オリエンテーション③職業選択フォーラム④地区大会への参加⑤GSEの受入れ⑥年次総会⑦クリスマス家族会等の行事が計画されています。合わせてロータリー財団寄付・ポールハリス・寺小屋運動への協力・出席率の向上・会員増強による100名達成も重要な課題であります。

本年度RIテーマ「FOLLOW YOUR ROTARY DREAM」を以って、鹿児島西ロータリークラブの充実と発展を期したいと考えます。

会員の皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。次頁以降に会員移動状況外のご報告をさせていただきます。

1998. 7. 1～9. 30 会員移動状況

会 員 名	入 退 会 日	委 員 会 名	会 員 数
石 橋 渡	'98. 8. 5 入 会	親 睦 委 員 会	97名
和 田 武 弘	'98. 8. 12 入 会	"	98名
大 浦 教 一	'98. 9. 2 入 会	国 際 奉 仕 委 員 会	99名
下 田 時 生	'98. 9. 17 退 会	転 勤	98名

例会プログラム実績

7 月	1	第1752回	クラブ協議会（活動方針・計画）
	8	第1753回	会員卓話（秋月宗近君）「三島事件あれこれ」
	15	第1754回	インフォーマル・ミーティング（R・Iテーマについて）
	22	第1755回	クラブ協議会（決算・予算）
	29	第1756回	会員卓話（濱田悦郎君）「お口爽やか歯ッピライフ」
8 月	5	第1757回	クラブフォーラム（会員増強）
	12	第1758回	会員卓話（別府 洋君）「モンゴル旅行4日間」
	19	第1759回	卓話 メダカの学校事務局長 池田博幸殿「人と自然と音楽と」
	26	第1760回	卓話 鹿児島県立図書館長 徳永健生殿「図書館あれこれ」
9 月	2	第1761回	卓話 日本開発銀行鹿児島事務所 佐々木一成殿「地域活性化における大学の役割」
	9	第1762回	クラブフォーラム（新世代）
	16	第1763回	「観月会」
	30	第1764回	会員卓話（桐明桂一郎君）「テレビの行方」
10 月	7	第1765回	職場訪問

行事・会議実施状況（理事会等）

7 月	2	臨時理事会	入退会について他
	6	第237回学習会	R.Iテーマ「ロータリーの夢を追い続けよう」について（23名出席）
	8	定例理事会	インフォーマルミーティングについて
8 月	3	第238回学習会	会員増強、拡大月間について（19名出席）
	5	定例理事会	GSEの件他
	6	第1回市内会長・幹事会	市内ロータリー名簿の件他
	20	報道関係者との懇談会	19名出席
9 月	7	第239回学習会	新世代のための月間について（27名出席）
	9	定例理事会	観月会の件他
10 月	5	第240回学習会	職業奉仕月間・ボランティアについて（25名出席）
	8	第2回市内会長・幹事会	GSE受入れについて他

出席状況（毎月ガバナー事務所へ報告）

年	月	ホームクラブ出席率	訂正出席率
平成10年	7月	70.00%	89.78%
	8月	73.22%	89.34%
	9月	67.58%	91.83%

各 委 員 会 報 告

会 計 報 告

会 計：森 永 茂 樹

活 動 実 績

1. 月次会計報告を事務局に提出させている。
2. 年度計画に従って予算の執行が適正に行われているかチェックしている。

ク ラ ブ 奉 仕 委 員 会

委員長：太 原 春 雄

委 員：(副) 古木 圭介・有馬 戦男・前田樹一郎・岩元 基・
玉利 賢介・正 建二郎・中嶋 健・坂木 貞剛・
加藤 一徳・江口 清隆

基 本 方 針

クラブ奉仕は、ロータリーの奉仕活動の根幹であることを理解し、これに所属する委員会が協力しあって、夫々の目的を達成するよう努力したい。

本 年 度 の 計 画

- (1) 会員の自然退会を予想して、会員の増強に努める。
- (2) クラブ奉仕委員会を適時開催して横の連絡を密にする。

活 動 実 績

会員増強を最大目標として努力の結果、年度当初96名でスタートしたのが98名となった。

会 員 増 強 委 員 会

委員長：有 馬 戦 男

委 員：(副) 大平 重隆・玉川 哲生・田中 寛吉・小田代憲一

基 本 方 針

1. クラブの円滑な運営ができるよう、年令的及び職業的にバランスのとれた会員構成をめざす。
2. クラブの活性化、向上発展等に寄与出来るような人を推薦する。
3. 会員増強に全会員の積極的な協力を願って努めたい。

本年度の計画

1. 転勤、退会等を見込んで、10%程度の会員増強を目指す。
2. 未充填の職業分類に夫々ふさわしい会員候補を推薦したい。
3. 常時100名程度の在会者が望ましいとのクラブの方針に基づき、積極的に会員獲得に努める。

活 動 実 績

毎月第1月曜日の夜6時30分より別会場、別会費で食事をしながら雑談を交え、3年未満の新会員の方々を中心にかねてより分からない事等を先輩会員へどしどし質問したりする場を設けて、新会員とのコミュニケーション作りをして退会者を少なくするように努めている。そして新入会員の方々が目標を同じにする友人・知人を自信を持って入会を勧誘できるクラブ作りを目指している。

又、新会員を推薦した先輩会員の方々に新会員が、クラブの雰囲気馴染む迄は、張りついて指導するようお願いしている。

会 員 選 考 委 員 会

委員長：前 田 樹一郎

委 員：(副) 山元 正明・水渕 清治・中村 一雄・榎田 浩典

基 本 方 針

1. ロータリアンとしての義務活動が出来しかも奉仕の精神にあふれている事。
2. 出席の義務をはたせる事
上記を基準に会員拡大を計りたい。

本年度の計画

例会に規則正しく出席する。

会員増強・職業分類の各委員会と連絡を密にし熱意のある会員の増強につとめたい。

活動実績

- (1) 先ず未充填の職業であるかどうかを確認。
- (2) ロータリアンとして義務活動を支障なく果せること。
- (3) 出席義務を果せること。

以上を基準に選考しております。

職業分類委員会

委員長：岩 元 基

委員：(副) 松田 忠臣・木治屋克己・高山・義則・坂元 明雄

基本方針

地域社会の職業分類について調査し、これに対する充填並びに未充填職業の分類表を作製して職業分類上からみた会員構成の改善点を検討する。

本年度の計画

- ① 地域社会の職業分類とこれに対する充填並びに未充填の分類表を作成する。
- ② バランスのとれた会員構成を目標にクラブ奉仕、会員増強、会員選考の各委員会と協力し、未充填職業の会員獲得に努力する。

活動実績

新しい職業分類表を作製した。

今期3名の新人会員を迎えたが内2名に新しい職業分類を適用した。

出席委員会

委員長：玉利賢介

委員：（副）上原 満・柴山 一清・高橋 良明・藤井 寛久・
桜美 義明

基本方針

クラブ会員に出席規定を知らせ、低い出席率の時は原因を探る。又、例会を欠席した時はメイクアップするよう奨励する。クラブ例会、地区大会、国際大会へ会員の出席を促進する。

本年度の計画

- ・連続出席者表彰
- ・出席スローガンを会場に掲示する。
- ・出席報告のあと次回例会の出席をお願いする。

活動実績

前委員長さんが募集して作った出席標語の中から12種を選び毎月会場に掲示し、会員の出席を促進しています。

親睦委員会

委員長：正 建二郎

委員：（副）中園 雅治・小山 幸義・佐伯 壽郎・東郷 三郎・
樋渡 良一・村田 龍宏・深掘 孝・田畑 勇・
福元 紳一・濱田 悦郎・桐明桂一郎・石橋 渡・
和田 武弘

基本方針

- ・会員相互の親睦をはかり、ビジター、ゲスト等、来訪者に親しみやすいクラブ作りに努める。
- ・新入会員がクラブに馴れ親んでもらうように気を配る。

本年度の計画

1. 観月会、クリスマス家族会を含む参聴会を年4回とする。
2. 有志によるゴルフコンペの実施（年4回）
3. ニコニコBOXの件数を増やす為の情報交換を行う。

活動実績

例会30分前に親睦委員4名は必ず例会場に出会し、会員並びにゲストを迎え楽しい雰囲気作りをする。年4回の参聴会のうち第一回、第二回（観月会）の企画、運営を担当し無事終わりました。多数の会員、ゲストの参加があり、もりあがりました。ニコニコボックスの協力を委員がニコニコして呼びかけ、又親睦を深める為、年4回のゴルフコンペを企画し、第1回は28名参加で行いました。

ロータリー情報委員会

委員長：中 嶋 健

委員：（副）染川 周郎・高井 敏治・須田 正己・長柄 英男

基本方針

「ロータリーの事はロータリーで学びましょう」そしてみんなで親睦と奉仕の精神を高めて行きましょう。

本年度の計画

1. 新会員に対し、個別的に「入会時オリエンテーション」を実施する。
2. 新会員に対し、入会数ヶ月後に数名を単位として、「新会員との懇談会」を実施する。
3. 「月例学習会」（第一月曜日PM6：30～8：30ワシントンホテル2階）を国際ロータリーの「月間テーマ」に準拠したプログラムで充実させる。
4. 会員全員の御協力で「基本方針」が実行される様努力する。

活動実績

1. 新入会員の入会時にロータリーに関する資料を提供し、又会員としての基本的事

項について説明した。

2. ロータリー月間テーマを議題として学習会（第237～239回）を実施した。
3. 新入会員5名のオリエンテーションを10月中に行う予定である。

会 報 ・ 雑 誌 委 員 会

委員長：坂 木 貞 剛

委員：（副）竹下 洋・野添 良隆・山下 健

基 本 方 針

- (1) 毎週の例会毎にクラブ週報を発行し、クラブ内外の情報を会員に伝達する。
- (2) ロータリーの友やカバナー月信等のロータリー誌が積極的に愛読される様奨励し、必要に応じてその内容を紹介する機会を設ける。
- (3) クラブ活動の状況等の記録を残す様にする。

本 年 度 の 計 画

- (1) 週報の内容充実に向けて努力する。
- (2) 前項を遂行するために各委員会と密接な連絡をとり情報の提供をお願いする。
- (3) クラブ内にインターネットのホームページを開設する件は検討する。

活 動 実 績

- ① 今期会報は会長挨拶、会員の原稿、クラブ情報の伝達を三つの柱とし会員の原稿についてはロータリー情報委員会の学習会報告、会員卓話、健康、職業の各一口メモ等を取り上げています。
- ② 「ロータリーの友」の購読促進に関しては毎月一回「ロータリーの友を読んで」という読後感の執筆をベテラン会員、新入会員交互に依頼しています。
- ③ クラブ内インターネットのホームページの開設については未だ検討中です。

プログラム委員会

委員長：加藤 一徳

委員：（副）板木 泰文・三角桂次郎・岩元 紀彦・福田 一郎・
諏訪園 勳

基本方針

会員相互の理解と親睦を深める為、楽しく有意義な例会を目指す。会員卓話を重点とし、また、併せて会員外の講師による時宜を得た「テーマ」「卓話」で構成したい。

本年度の計画

1. 新入会員の卓話のチャンスを広げ、ベテランとの組み合わせに配慮する。
2. 社会的関心や、時宜を得たテーマを選択、各方面の団体や個人に卓話をお願いする。
3. ロータリーのテーマ、各月間活動に沿った内容を織り込む。

活動実績

1. 7月は新入会員に卓話をお願いしそれぞれの職業を通じた専門的な話を聞き有意義であった。
2. 8月、9月は、会員外のゲスト卓話とし、自然環境、図書館活動、地域活性化問題について講演を聞き関心が深まった。

広報委員会

委員長：江口 清隆

委員：（副）深尾 兼好・小園 正人・平岡 禎吉

基本方針

地域社会の人々がロータリーの活動を正しく理解しその活動をあたたかく支援していただく為に、色々なメディアを通じて広報していく。

本年度の計画

1. まずメディア関係者に年間活動計画を示して理解と協力を求める懇談会の実施
(7月)
2. 広報を要する活動の情報提供を各委員会にお願い致します。

活動実績

鹿児島西RC, マスコミ懇談会

平成10年8月20日(木)PM6:30~9:00サンロイヤルホテルに於いて、新聞社、テレビ局等10社出席

年間行事計画を提示して報道の協力を依頼しました。又広報に対する意見交換をさせて頂きました。

S A A 委 員 会

委員長: 中村英幸

委員: (副) 諏訪園 隆・藤安 秀一

基本方針

例会場の品位を高める為の努力をし、秩序正しい運営に努めゲスト・ビジターの方々にも再来していただけるような運営・設営にあたりたい。

本年度の計画

1. 定刻開始、定刻終了の厳守
2. ゲスト、ビジターの送迎を大事にしたい。
3. 会員相互の交流がなされるような会場にしていきたい。
4. ゲスト卓話中は私語を慎み禁煙の協力を働きかけたい。

活動実績

1. 定刻に対しては、会員の努力が感じられます。
2. ゲスト、ビジターの送迎等、親睦委員との協力で良好です。
3. 私語、禁煙の協力につきまして、会員の良識に於いて改善されつつあります。

職 業 奉 仕 委 員 会

委員長：山 田 晴 彬

委 員：(副) 竹下 威・福田 正臣・田崎 一郎・片平 可也

基 本 方 針

職業奉仕は、ロータリークラブと会員の双方の責務であるというR I職業奉仕委員会の方針に従ってより高い倫理観、視野の広い道徳観をもち職業奉仕の理想を実行普及するよう奨励する。

本年度の計画

1. 職業奉仕の認識を高めることを目標に基本方針である「職業宣言」を例会場に掲示する。
2. ボランティア委員会と協力し会員個人ならびロータリークラブとしてのボランティア活動に取り組めるよう推進する。
3. 職場訪問10月7日(水) 予定
4. クラブ会員の推薦を受け隠れた優良従業員の表彰を行う会員の方の御推薦がございましたらよろしく御願います。
5. 新世代委員会と協力してインターアクト高校における職業選択フォーラムを計画している。
6. クラブ会員それぞれ職業奉仕の実態や認識を理解する機会を設けたい。
7. 四つのテストの唱和の実施
8. 地域ボランティア団体の活動内容の充実を計りたい。

活 動 実 績

- 10月 5日 学習会で職業奉仕についてのテーマで討論会をして勉強会をいたしました。それぞれの職業分類の立場でボランティアを含めて話してもらった。
- 10月 7日 職場訪問例会
鹿児島県県庁舎
テーマ 鹿児島県に於ける災害対策の概要について
- 10月14日 クラブフォーラム
職業奉仕月間について職業奉仕委員長より
○電気工事業界を通じての職業奉仕及びボランティア活動

- 医師の立場よりボランティアのあり方、職業奉仕について
- ロータリーの在席年数によりロータリー活動による職業奉仕について

10月31日 職業選択フォーラム
鹿児島高校において予定している。

ボランティア委員会

委員長：山下 皓三

委員：(副) 本田 亨・古木 圭介・大平 重隆・山元 正明・
松田 忠臣・上原 満・中園 雅治・染川 周郎・
竹下 洋・板木 泰文・深尾 兼好・竹下 威・
若松喜八郎・鉦之原大助・藤川 毅・日高 好久・
新川 靖博・山田 晴彬・秋月 宗近

基本方針

ロータリーのモットーである「超我の奉仕」の精神を喚起し、ボランティア活動をととして、地域社会に奉仕する。

職業奉仕委員会をはじめ社会奉仕委員会など各委員会と緊密に協力しながら奉仕活動を行う。

本年度の計画

1. ボランティア奉仕活動についての理解と啓発（学習会）を行う。
2. 各会員の活動についてのアンケート調査を行う。
3. ロータリアンの広範囲な技能を活かした活動を推進する。

活動実績

11/8（日）第7回鹿児島福祉ふれあいフェスティバルへの協力参加へ啓蒙を行う。（場所）鹿児島アリーナ（内容）模擬店手伝い、催し物補助

社 会 奉 仕 委 員 会

委員長：菅 富 男

委 員（副）若松喜八郎・江夏 洋・川平建次郎

基 本 方 針

高齢化社会の到来が間近い今日、地域社会が何をロータリーに求めているかを模索し、実践可能な奉仕活動をすべく努力する。

本年度の計画

I. 継続プログラムは従来通り実行する。

① ロータリー賞

社会奉仕実践者に対して、『ロータリー賞』を贈る。

② 社会福祉施設『ゆうかり学園』の訪問

③ 西鹿児島駅前の清掃（RACへの協力）

II. 新しいプログラムの試み

西RCが21世紀へ向けて継続実践できるプログラムを探し出す。

活 動 実 績

新年度の活動は、98年1月設立されたプロバスクラブの活動支援。

また、同クラブと西RCとの懇親のため、会長及び幹事をインフォーマルミーティングへ招待した。

今後の計画としては、福祉施設『ゆうかり学園』の訪問、RACと協力し、西駅前清掃を行う予定。

新 世 代 委 員 会

委員長：松 田 健 一

委 員：（副）鉾之原大助・水流 洋・三反田藤男

基 本 方 針

青少年が社会奉仕の理念追求のための活動ができる環境づくりにこころがける。あ

わせて、よき指導者育成に尽力する。そのためインターアクト委員会と密に連携をとり、青少年と共に行動し思考する社会を多く企画し理解と啓蒙に努める。

本年度の計画

- ① 青少年との話しあい場を企画し、上記活動の環境づくりをする。
- ② 青少年、インターアクトの活動、会合に積極的に参加する。
- ③ インターアクトの会員増強に協力する。

活動実績

ロータリーの理念に基づく新世代の人材育成のためのとりくみについての学習会を開催した。青少年に対する不安と期待といった意見交換があり、またロータリアンの実体験をふまえての現況と未来への展望は、当委員の具体的活動の貴重な情報源となった。今後、早急に青少年に接する機会を積極的につくりだしてゆく方向で活動をすゝめる。

ローターアクト委員会

委員長：南 徹

委員：(副) 藤川 毅・福地 眞・江口 一・別府 洋・
徳留 忠敬

基本方針

国際ロータリーによって規定される、「標準ローターアクトクラブ定款、細則」に則り、ローターアクト会員がクラブ参画の意義を自らの力で見いだせるよう助言、指導、協力する。会員各自が自らの力で考え、行動し、他との進歩的調和を計り、自立の精神樹立の自己啓発に努められるように助言していく。

1. 指導能力開発の助言。
2. 個人の価値を認める考え方に立脚して、他人の権利を尊重する観念を養えるように。
3. すべての有用な職業は社会に奉仕する機会であるとして、その品位と価値を認識できるように。

4. 指導者としての資質という面でも、職業上の責務上の遂行するという面でも、道徳的基準が大切であることを認識してもらい、実践、推進するように。
5. 地域社会と世界各地のニーズ、問題、機会に対する知識と理解を深められるように。
6. 地域社会に奉仕し、かつ、国際理解と全人類に対する善意を推進するために、個人として、また、団体として、活動する機会を積極的に求めるように。

本年度の計画

1. 会員としての意義、哲学の確立。
2. 会員増強及び、会員相互の意思の疎通に協力。
 - (1) ローターアクトクラブ例会
 - ・第一、三木曜日、午後7時～9時、青少年会館／鴨池新町
 - (2) ローターアクトの意義を再認識する為の冬と夏のキャンプ
 - (3) ロータリアンの卓話（2カ月に1回）
 - (4) JR西鹿兒島駅前の清掃作業（第一日曜日・午前6時半）
 - (5) 「愛の聖母園」訪問（第一日曜日・清掃作業のあと）
 - (6) 各種研修会参加（クラブ内、分区内、地区内、RYLA、その他）
 - (7) 内外クラブとの交歓会
 - (8) バザー、クリスマス会、忘年会、年度末パーティ等会員親睦会

活動実績

例会：毎月第一、第三木曜日（19：00～20：30）

- 7 / 5（日）アクトデー：東南RACと合同朝清掃（西鹿兒島駅前）
- / 6（木）例会卓話：自己破産について（アクトOB和田氏）
- 8 / 2（日）アクトデー：西鹿兒島駅前清掃
- / 6（木）例会卓話：護身術（中国大極拳師範前田氏）
- / 20（木）会員増強を目的とした第二屋久島フェリー船上にての納涼船例会

インターアクト委員会

委員長：池田 勝一郎

委員：(副)日高 好久・森田 幸次・瀬戸口良一

基本方針

- 青少年に、社会奉仕の精神思想を植えつけ地域および国際社会で奉仕活動が出来る様に指導、援助を行う。

本年度の計画

- 1. インターアクト年次大会への参加(8/1~8/3)
- 1. インターアクト協議会へ出席する。
- 1. 国際奉仕委員会と協力して、サンタローザ交換学生と親睦をはかる。
- 1. 職業選択フォーラムをおこなう。
- 1. 会員増強をはかる。

活動実績

- 8月1日~8月3日の3日間、第34回インターアクト年次大会が鹿児島県立青少年研修センターであった。鹿児島・宮崎の高校生230人出席。
- 9月10日 インターアクト連絡協議会
- 10月31日 職業フォーラムを鹿児島高校でおこなう。

国際奉仕委員会

委員長：黒木 幸一

委員：(副)池口 恵観・秋月 宗近・永松 実夫・大浦 教一

基本方針

- ロータリー活動(奉仕の精神)を通じて、国際親善を推進し世界の人々をより理解し、国際平和に寄与する。

本年度の計画

- 1) サンタローザ友好協会の主催する青少年交換プログラムに協力する。
- 2) 個人的な国際奉仕活動家を紹介し、その活動状況を報告する。

活動実績

第2回世界寺子屋運動における書き損じはがき回収を実施

ハガキ 149枚 7,676円

現金 1,000円 を送る。

ロータリー財団委員会

委員長：原田 隼 男

委員：(副) 新川 靖博・徳田 基・岩男 秀彦・天本 美信
米山奨学部・村田 和雄

基本方針

ロータリー財団の設立をされた目的と内容を理解してもらい活動に努力する。

本年度の計画

ポールハリス・フェロー、準フェローの増加に努力する。

活動実績

例会にて会員の皆様に相談し、現況を説明し理解していただきながら努力しております。

ベネフアクター 1名

ポールハリス・フェロー 5名

ポールハリス・準フェロー 2名

予約いただいております。